

近畿地方小委員会の概要と意見

□開催日時

平成31年3月8日（金）10:00～11:10

□場所

近畿地方整備局 新館 3階 A会議室

□委員名簿

氏名	所属・役職	出席
いづか あつし 飯塚 敦	神戸大学 都市安全研究センター 教授	
うの のぶひろ 宇野 伸宏	京都大学大学院工学研究科 教授	○
うらお たか子 浦尾 たか子	京南倉庫株式会社 常務取締役	○
かわもと よしみ 川本 義海	福井大学 学術研究院工学系部門 教授	○
こばやし きよし 小林 潔司	京都大学経営管理大学院 教授	○
たまおか かおる 玉岡 かおる	作家 大阪芸術大学大学院 教授、兵庫県教育委員	
まきむら ひさこ 槇村 久子	関西大学社会安全学部 客員教授	
むねた よしふみ 宗田 好史	京都府立大学 副学長・和食文化研究センター長・ 生命環境学部 教授	
【委員長】 やました あつし 山下 淳	関西学院大学 法学部 教授	○

□対象事業

- 一般国道42号（近畿自動車道紀勢線）新宮道路
- 一般国道24号 城陽木津川バイパス

□議事概要（各委員からの意見）

【一般国道42号（近畿自動車道紀勢線）新宮道路】

- 南海トラフ地震時の津波等に対する防災面での効果が大きな道路であり、早期整備が必要。
- 津波高が考慮された計画となっており、津波発生時の避難場所としても期待できるため、アクセス路も含めた地域との一体的な防災対策に期待。
- 新宮港、白浜空港、道路が一体となった広域的な観光振興の効果が期待。
- 津波に耐える構造や景観に配慮すること。

【一般国道24号 城陽木津川バイパス】

事務局より、事業名については、都市計画道路名に合わせた事業名（城陽井手木津川バイパス）に変更して進めることを説明。

- 河川氾濫時等、防災面での効果は大きい。渋滞による生活道路への交通進入を防止するためにも有効。早期整備が必要。
- 地域開発、特に新名神整備に合わせた研究、物流、商業施設等の開発が進んでおり、地域振興の支援に期待。
- まちづくりは市民生活に密着したものであり、新しい道路だけではなく既存道路とのネットワーク構築や既存市街地とのアクセスが重要。

□結論

一般国道42号（近畿自動車道紀勢線）新宮道路
一般国道24号 城陽木津川バイパス
の新規事業化については妥当である。